

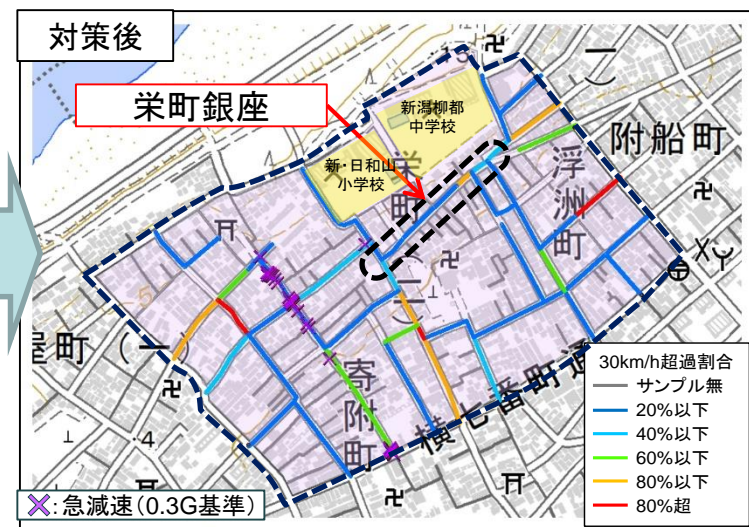
# 「生活道路対策エリア」の取組事例（新潟市日和山小学校地区の事例）

ライジングボード・狭さく・スムーズ歩道

- 重点対策区間（栄町銀座）では、半数以上が速度超過しているため、速度抑制対策を実施（狭さくの設置、路面カラー舗装）
- ワークショップを4回開催（第4回：H29.12開催）し、住民と協働で対策を検討
- 平日朝の通学時間帯における通過交通が多いため、通過交通の進入抑制対策を実施（ライジングボード、スムーズ歩道）
- 重点対策区間において、30km/h超過割合が45ポイント減少するなど、大幅な速度抑制効果が発現

## 取組概要

## ビッグデータ分析結果



- ワークショップの開催  
住民、学校関係者及び関係機関の協働でワークショップを開催し、対策を検討
- H28.7 : 交通安全に関する知識の共有  
問題点と対策案の共有
- H28.9 : 具体的な対策案の検討
- H28.11 : 実施方針のとりまとめ
- H29.12 : 効果検証、改善の取組

## 整備状況

## 整備効果



	30km/h超過割合		平均速度		急減速発生状況	
	エリア全体	栄町銀座	エリア全体	栄町銀座	回数	発生トリップ割合
対策前	25.2%	73.8%	17.6km/h	34.0km/h	114回	13.2%
対策後	22.7%	28.6%	18.2km/h	22.7km/h	84回	9.5%

スムーズ歩道を整備 ライジングボードを設置 狭さく、カラー舗装を実施

(▲2.5%) (▲45.2%) (+0.6km/h) (▲11.3km/h) (▲30回) (▲3.7%)

【出典】1.履歴点データ：ETC2.0プローブデータ（30km/h超過割合）【対策前】H28.4～6、【対策後】H29.4～6（急減速）【対策前】H28.4～6、【対策後】H29.4～5  
2.背景地図：国土地理院